

2007年度第3四半期  
**決算説明会**

2008年1月29日

沖電気工業株式会社

## 本日のご説明内容

### 2007年度第3四半期 決算について

- 1) 決算概要
- 2) 損益の状況
- 3) 事業別セグメント情報
- 4) 営業利益の変動要因
- 5) B/Sの概要
- 6) キャッシュフローの状況

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

B/S: Balance Sheet

## 決算概要

### 前年同期比較

- 売上高は郵政向けを中心に、2%の増収
- 営業損失は売上の増加に加え、為替影響もあり97億円の改善

(単位:億円)

(9ヶ月累計)	06年度	07年度
売上高	4,764	4,873
営業利益	△128	△31
経常利益	△180	△90
当期純利益	△384	△135
1株当たり当期純利益	△60.33円	△19.83円
総資産	6,264	5,919
自己資本	1,099	905
1株当たり純資産	160.84円	132.48円
有利子負債	2,968	2,983

## 損益の状況

### P/Lの概要(9ヶ月累計)

(単位:億円)

	前期	当期
売上高	4,764	4,873
売上原価	3,729	3,764
販管費	1,163	1,140
営業利益	△128	△31
営業外収支	△52	△59
経常利益	△180	△90
特別損益	△15	△9
税引前利益	△195	△99
法人税等	10	14
税金等調整額	179	22
当期純利益	△384	△135

### 【対前年比較】

- 売上原価率は78.3%から77.2%へ1.1ポイントの改善
- 販管費は人件費抑制策の効果や、プリンタ事業の販売促進費効率化などにより23億円減少
- 税金等調整額は前年に繰延税金資産の取崩しがあったことから今年度は減少

### <実勢為替レート>

	06年度	07年度
USD	116.2	117.3
Euro	148.0	162.8

P/L: Profit and Loss

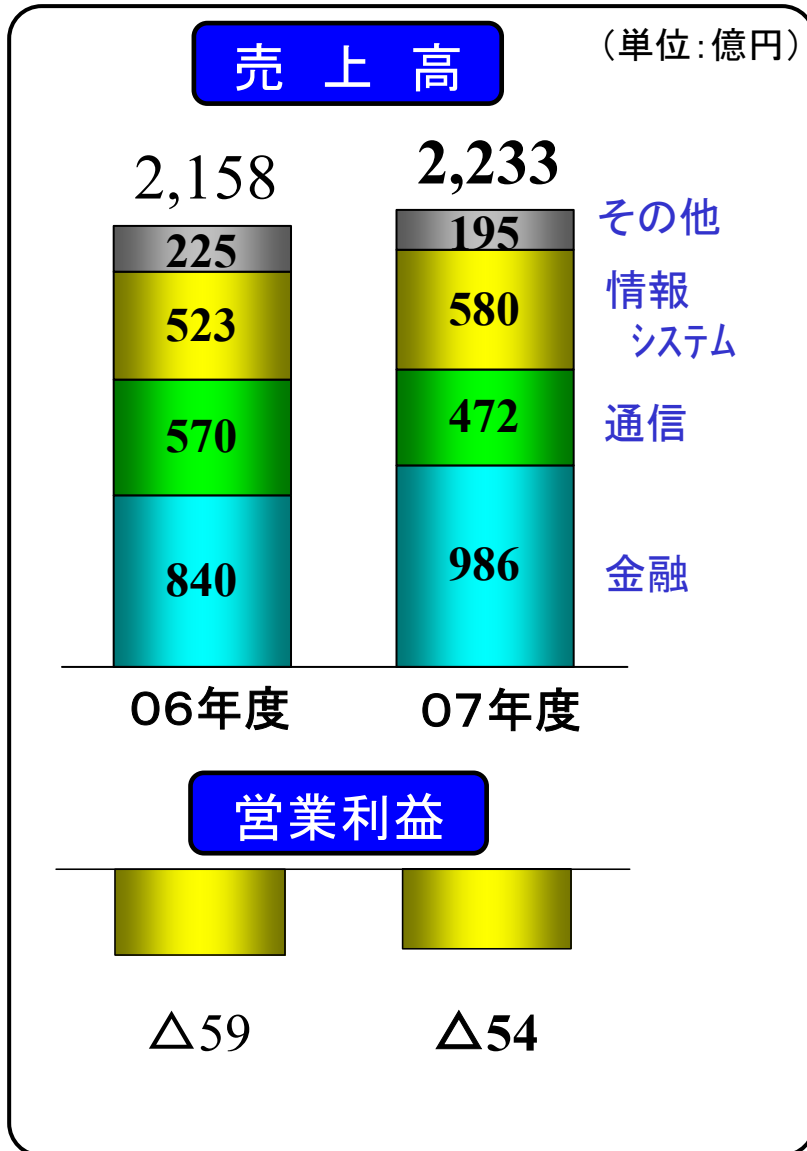
## 事業別セグメント情報

(9ヶ月累計)

(単位:億円)

		前期	当期
情報通信	売上高	2,158	2,233
	営業利益	△59	△54
半導体	売上高	1,070	1,029
	営業利益	△2	△5
プリンタ	売上高	1,299	1,342
	営業利益	△9	68
その他	売上高	237	269
	営業利益	19	27
本社費等	営業利益	△77	△67
合計	売上高	4,764	4,873
	営業利益	△128	△31

## 事業別セグメント情報【情報通信】



### 【売上高】

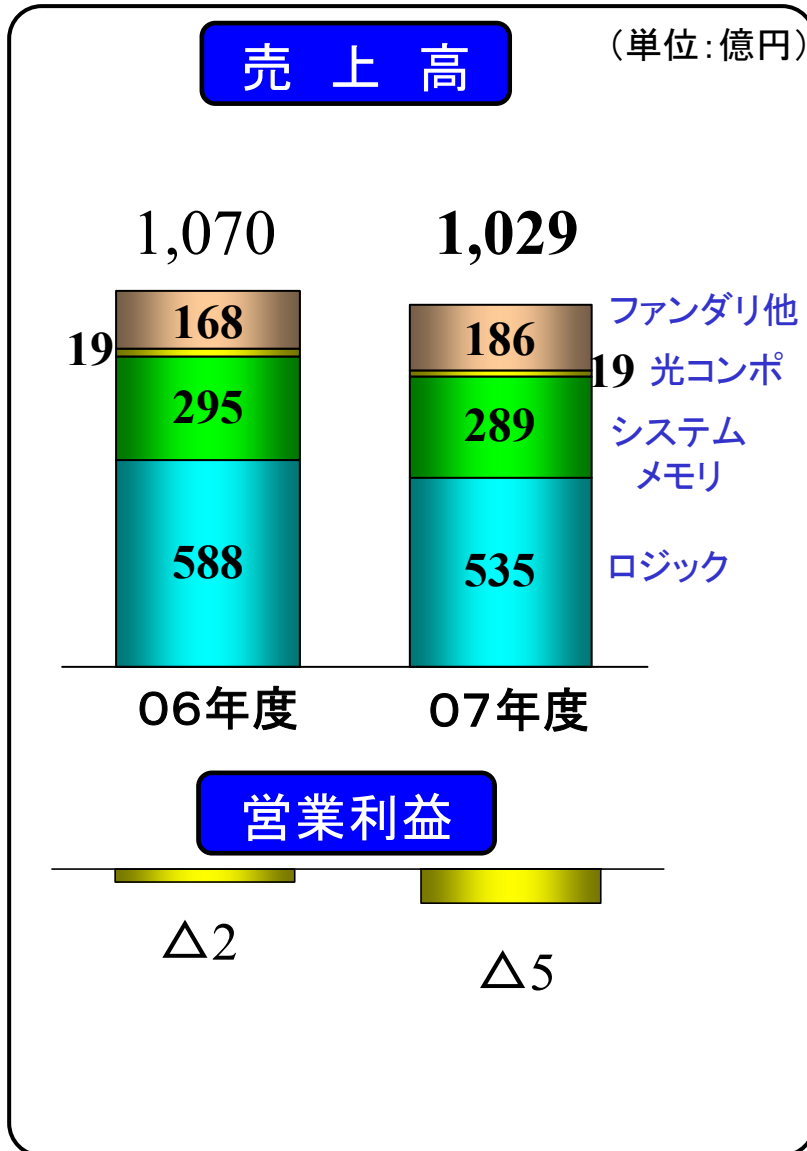
- 金融市場向けは好調な中国向けATMや、郵政向け窓口端末の増加などにより増収
- 通信市場向けは各通信キャリアの固定網系設備への投資抑制継続により減収
- 情報システム事業は法人向け各種システム増加などによる増収

### 【営業利益(損失)】

価格下落やNGN関連の開発費増加などがあるものの、調達コスト低減およびVEや物量増による限界利益増、さらに固定費削減などにより吸収

ATM: Automated Teller Machine

## 事業別セグメント情報【半導体】



### 【売上高】

- 中小型ドライバLSIや中国向けPHS用BB-LSIなどの減少
- システムメモリはアミューズメント市場向けP2ROMが堅調
- ファンダリは高耐圧プロセスなどの差別化技術を活かし堅調

### 【営業利益(損失)】

売価ダウンを調達コスト低減およびVE、さらに固定費の削減効果などで大半を吸収

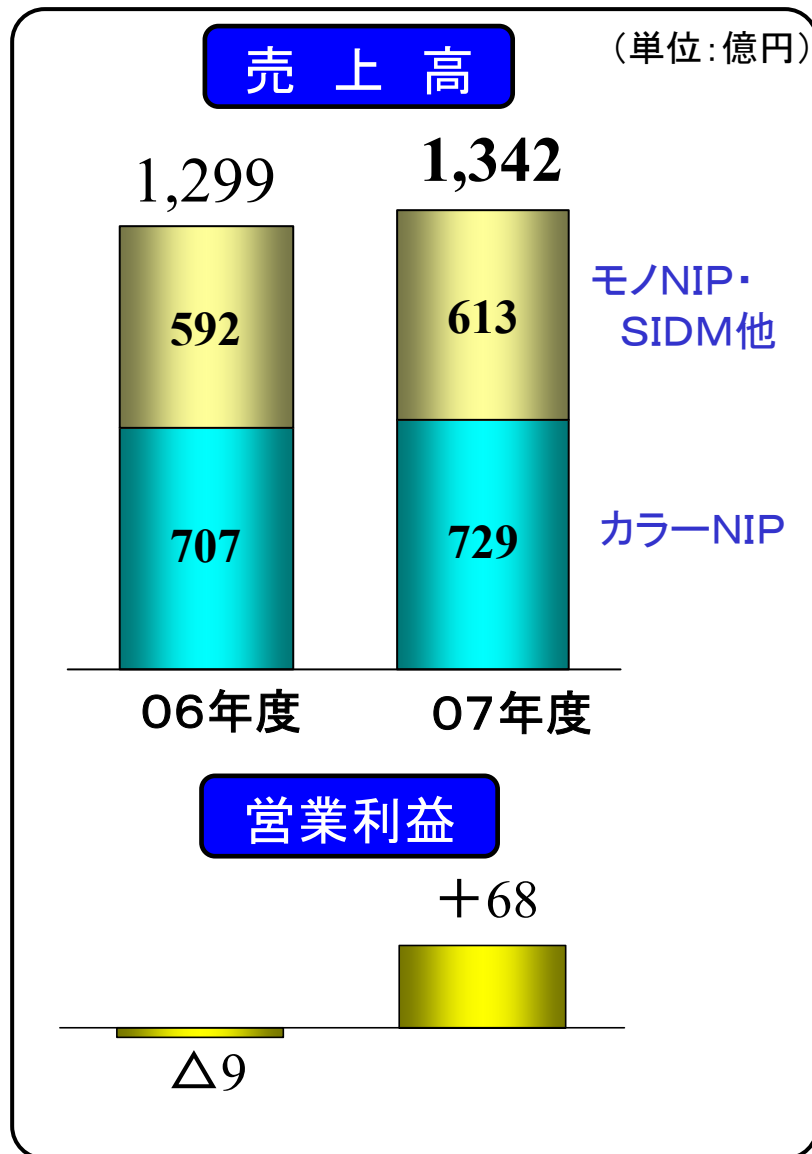
LSI : Large Scale Integration

PHS : Personal Handy-phone System

P2ROM: Production Programmed Read Only Memory

VE : Value Engineering

## 事業別セグメント情報【プリンタ】



### 【売上高】

- カラーNIPは中上位機種へのシフトのため、ローエンド機の販売抑制を継続。一方、消耗品の売上は増加
- 為替影響による増収効果は63億円

### 【営業利益(損失)】

中上位機種シフトの効果により、本体の採算性改善に加え消耗品の割合が増加。さらに調達コスト低減およびVEや為替影響などにより、77億円改善し68億円の黒字

NIP: Non-Impact Printer  
SIDM: Serial Impact Dot Matrix



## 営業利益の変動要因

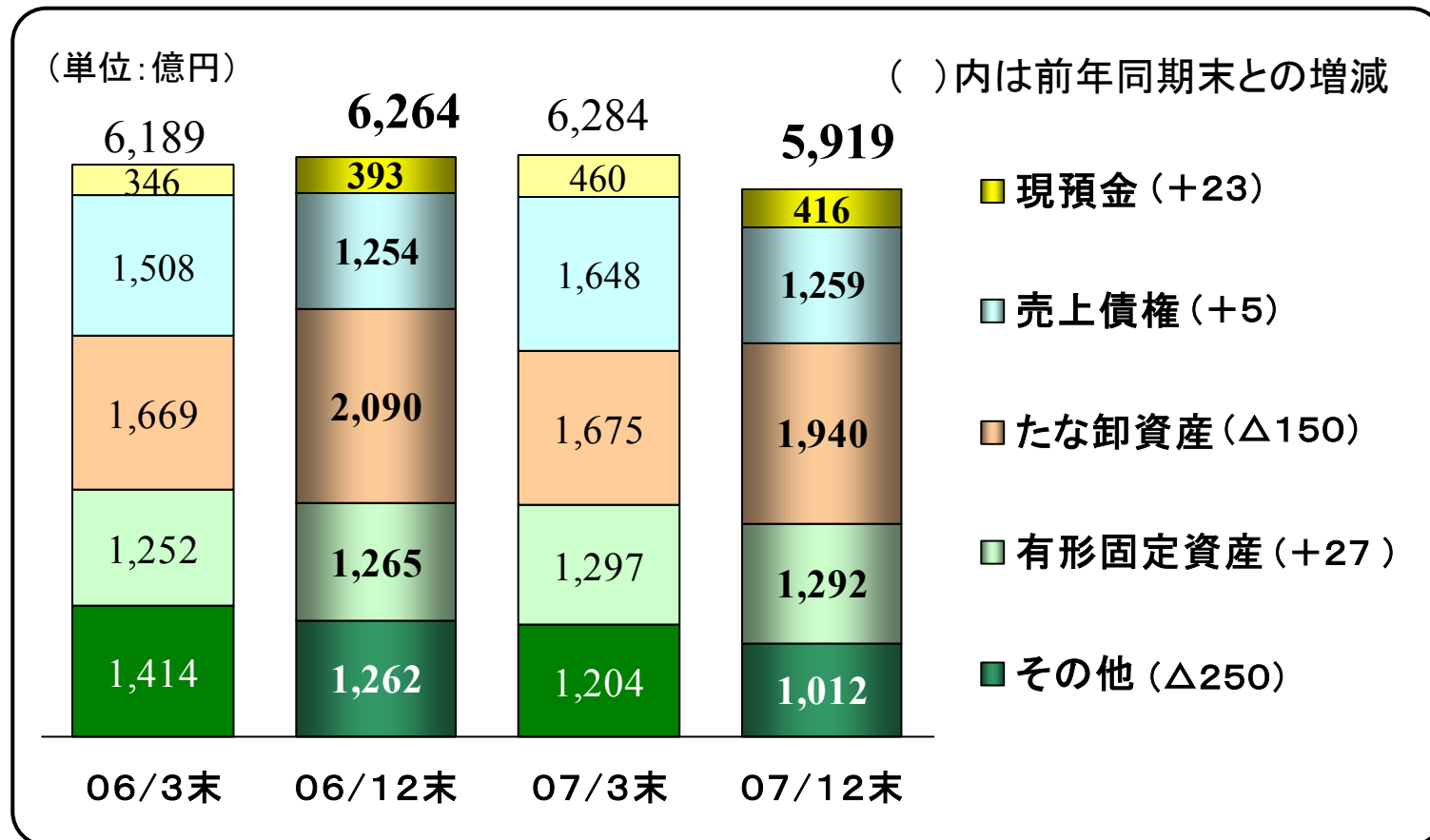
- 価格下落を、物量増による限界利益の増加、調達コスト低減およびVEで吸収
- 加えてプリンタの機種構成の良化による採算性改善や固定費の削減、為替影響などが寄与し、収益は大幅に改善

06年度第3四半期実績	△128
07年度第3四半期実績	△31
営業利益増減	+97
<b>■ 主要変動要因</b>	
物量増減および機種構成差	+60
価格下落	△80
調達コスト低減およびVE	+70
固定費変動	+30
為替影響	+25

(単位:億円)

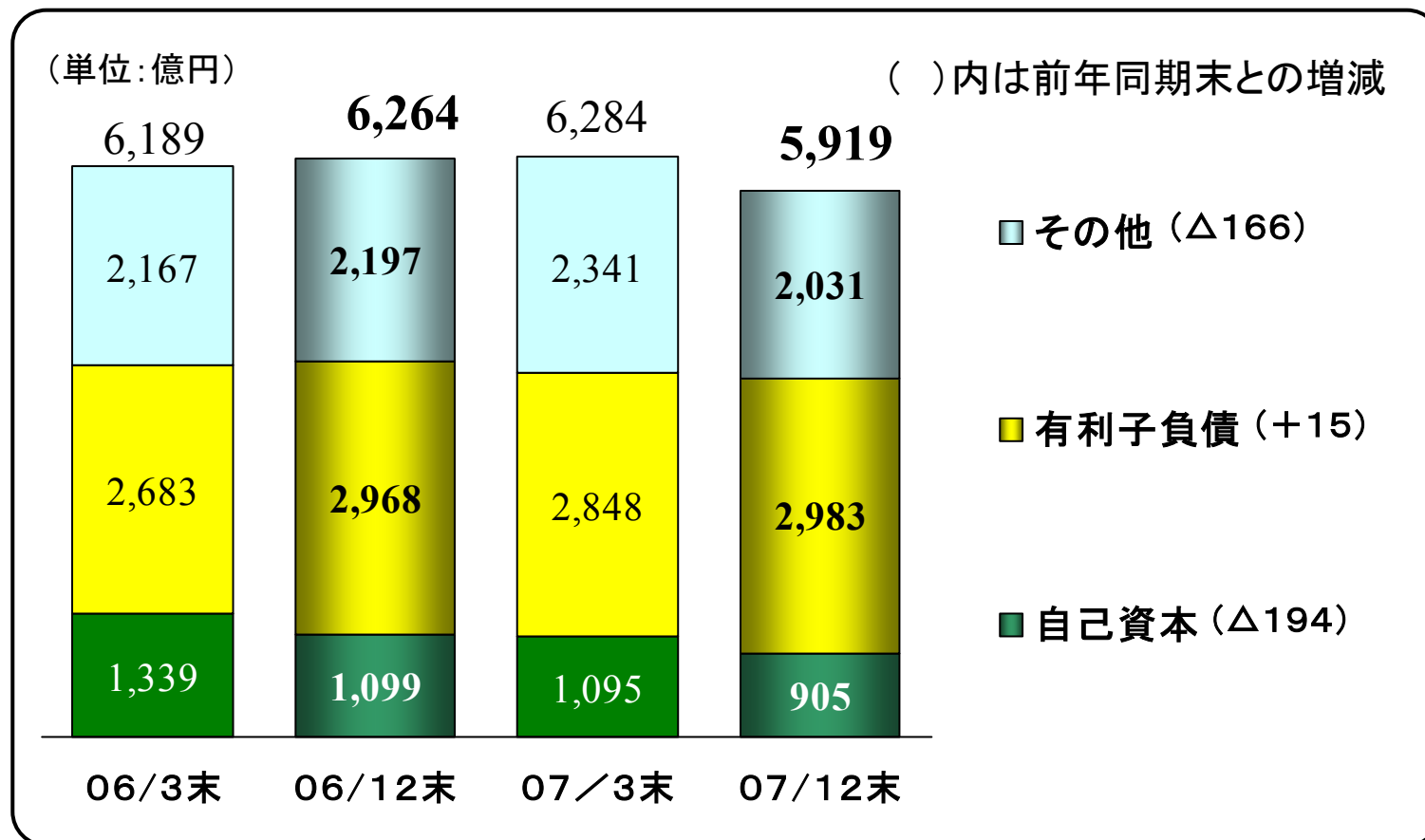
## B/Sの概要【資産の部】

- たな卸は削減活動の効果などにより、前年同期比150億円減少
- 投資有価証券の時価評価額の減少などもあり、総資産は同345億円減少



## B/Sの概要【負債・純資産の部】

- 自己資本は第3四半期までの純損失に加え、投資有価証券の時価評価額の減少などにより、前年同期比194億円減少
- 有利子負債は、新規連結会社の影響により15億円の増加



## キャッシュフローの状況

- 利益および運転資金の改善により、フリー・キャッシュフローは284億円良化

(9ヶ月累計)	(単位:億円)	06年度	07年度
<b>I 営業キャッシュフロー</b>		△136	88
税金等調整前当期純利益		△195	△99
減価償却費		256	254
運転資金の増減		△164	△69
その他		△33	2
<b>II 投資キャッシュフロー</b>		△276	△216
設備投資支払額		△194	△196
その他投資活動		△82	△20
<b>フリー・キャッシュフロー(I + II)</b>		△412	△128
<b>III 財務キャッシュフロー</b>		443	74
社債発行・償還		100	△95
長短借入金の増減他		343	169
<b>キャッシュフロー計(I + II + III)</b>		31	△54
<b>IV 現金同等物等の期末残高</b>		435	456